



昭和五十二年、第四回定期七件、更に昭和五十一年の例村議会は、去る十二月十日、算定など二七議案が上程の会期をもって開会され、慎重審議の結果、いれ、条例の制定、改正十ずれも原案のとおり可決成件、補正予算、五件、村道立ししました。

可決された主な内容は次

12月定例議会

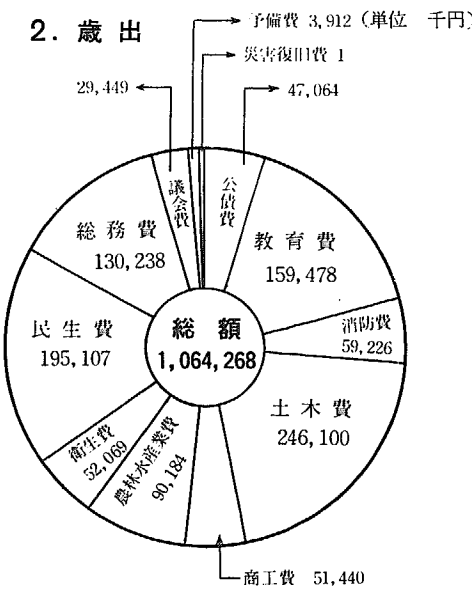
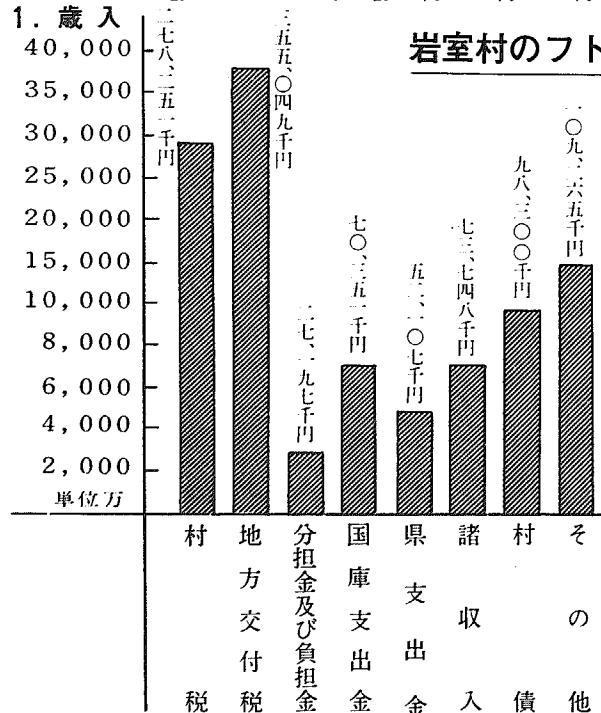
中学校グラウンド整備費など
七、六〇〇万円を補正
総額十億七千三百万円

- ◆ 条例の制定・改正
 - 岩室村民憲章の制定
 - 岩室村民職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
 - 岩室村職員の育児休業に係る給与等に関する条例の一部を改正する条例
 - 岩室村議会の議決に付すべき契約、および財産の取得又は、処分に関する条例の一部を改正する条例
 - 岩室村高額の療養費貸付基金条例の制定
 - 岩室村高額の療養費資金貸付条例の制定
 - 岩室村常勤の特別職に対する給与並びに旅費支給条例
 - 岩室村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例
 - 岩室村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
 - 岩室村入湯税条例の一部を改正する条例
 - 原子力発電所の建設に関する決議
 - ◆ 補正された主な予算
 - ◆ 一般会計

- 地方産業育成資金預託金 一、〇〇〇万円
- 岩室村グラウンド整備工事費 八五〇万円
- 老人医療費扶助料 八〇五万円
- 村道改良舗装工事費 四〇〇万円
- 交通指導車購入費 九五万円
- 優良銘柄米生産促進奨励補助金 九二万円
- このほか、農免農道分担金、除雪対策費などをあわせ、七千六百万円が補正され、予算総額十億七千三百万円となりました。
- ◆ 国民健康保険特別会計
 - 総額 二億七千六百万円
- ◆ 水道事業会計
 - 総額 八千九百万円
- ◆ 農業共済事業会計
 - 総額 四千四百万円
- ◆ 温泉集約加熱事業特別会計
 - 総額 四千万円
- ◆ 村道の路線認定
 - 一路線(牛島)と納線)延長一、三三三メートル
- ◆ 昭和五十一年度一般会計決算認定
 - 歳入総額 十億二千三百万円
 - 歳入総額 九億七千五百万円
 - 歳入歳出差引額 五千三百万円

岩室村のフトコロぐあい

～12月19日現在～



新春のねがい 調和のとれた村政

岩室村長 金子誠一



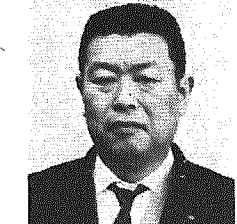
新年明けましておめでとく御礼申し上げます。誠にめでたうございます。謹しんで年頭のあいさつを申し上げます。

また、みる程順調な天候には恵まれたものの、悲喜交々の経済不況のみならず、昭和五十二年は静かに過ぎ去り、ここにまた、希望に燃え立つべき新春を迎えました。村民のみならずおかしな村政の執行に当りましては、常日頃深いご理解と温かいご協力ご支援をいただきお蔭様をもちまして、地域住民の福祉向上のための行政が、一歩一歩着実に前進しておりますことは、感謝しております。

三つの柱とした重点施策につきましましては、逼迫した財政下でありながらも、幸

一年を顧みて

- ① 道路の整備改良
- ② 教育施設の整備充実
- ③ 社会体育施設の充実



あけましておめでとうございます 岩室村議会議長 山上 一夫

昭和五十三年の年頭にあて、自分自身の心をみつたり、岩室村議会議長を代表し、おめでとうございます。新年のごあいさつを申し上げます。村民のみならず、明けましておめでとくございませう。

「一年の計は元旦にあり」といわれます。年頭の新鮮化など極めて多事多難な年

い各界各層の力強いご支援を得て、所期の目標を達成することができました。中でも、ナイター施設の完成は、若者たちへのよきプレゼントであったと確信しております。

また、今後の村づくり家づくりの道しるべともいえるべき「村民憲章」を制定することができたのも、特筆すべきでありましょう。「村民憲章」が、すべての村民の生活の中で実践され、定着するよう念願しております。

一方、一地方公共団体では如何ともしがたい問題ではあります。前途不測の経済・政情の混迷は、公私に

昭和五十三年の展望

- ① 道路の整備改良
- ② 教育施設の整備
- ③ 国土調査の開始
- ④ 自然休養村事業の完結

調和のとれた村政を

以上、紙面の都合もあり重点施策を項目だけ列記しましたが、これらの具体化に努めてまいります。「明日の岩室村を更にする会」の答申を加味して更に検討を加え、国庫の補助制度を最高度に活用する方向で、財源を確保していかねばならぬことは勿論であります。詳細を明らかにしていき所存であります。

村民の皆様のご理解と、力強いご協力を願います。昭和五十三年でありますようにお祈りして、年頭のごあいさついたします。

わたり不安と焦燥をかき立てております。本来喜ぶべき米の大豊作が、逆に減反政策に拍車をかけ、円高の中の不況は、中小零細企業者をして、明日をも知れない不安におとし入れています。産業育成資金の融資枠増の緊急措置として、どの程度の効果をもたらすかは、予測しがたい現状であります。

しかし、このような難局にこそ小異を捨てて力を合わせ、英知を集めて立ち向わねばならないと考えるのであります。

文化施設建設への始動

文化的施設に乏しい本村の現状をふまえ、具体的な取り組みに入る。

以上、紙面の都合もあり重点施策を項目だけ列記しましたが、これらの具体化に努めてまいります。「明日の岩室村を更にする会」の答申を加味して更に検討を加え、国庫の補助制度を最高度に活用する方向で、財源を確保していかねばならぬことは勿論であります。詳細を明らかにしていき所存であります。

福祉等々、いずれの分野もそれぞれ重要であり、これらすべてを同時に進めようとするだけでは、物や事業活動ばかりでなく、職域や地域社会に於ける人間関係に至るまで全く同様であります。

そこで私は、村政執行に当たって、常に岩室村全体の調和を考え、人と人とが互いに信頼し合い、協調し合うことを念願しながら、村づくりに努めたいと思っております。

村民の皆様のご理解と、力強いご協力を願います。昭和五十三年でありますようにお祈りして、年頭のごあいさついたします。